



## 歴史と伝統の緑豊かな地で大きな成果を達成

電子情報部門 教授 小林 春夫



1997年に学生時代に親しくご指導いただきました稲村實先生に誘われ、電気電子工学科に着任しました。このころ日本の大学では声高に産学連携が推奨され始め、追い風にのり半導体メーカー、電子計測器メーカーとの共同研究を開始しました。20数年後の現在も複数の企業と共同研究を行ってきています。群馬大学アナログ集積回路研究会を20年以上にわたり主宰し、500回以上の公開講演会を開催しました。その間多くの客員教授、非常勤講師、協力研究員の方々を招聘し、研究教育に協力をいただいています。先生方の講義・講演資料を研究室ホームページに掲載することで、関係研究者・技術者の学習資料を提供でき、大きな社会貢献になっています。研究室から多くの博士後期課程、前期課程修了生、学部卒業生を得、また多数の留学生を受け入れるこ

とができました。コロナ前は毎年研究室の修学旅行も兼ねて、多くの研究室学生と海外の国際学会参加・発表を行ったのが良き思い出です。コロナ禍では、学生のモチベーション向上に对外発表が有用であると判断し、桑名杏奈先生との協力で多くの外部発表実績ができました。2019年には、群馬大学がホストになり、回路システム分野の国際会議を栃木県日光市（東照宮、輪王寺）で開催し大盛況でした。多くの国際学会の委員を務め、また多数の論文発表ができ、学会活動にも貢献できています。研究室に在籍してくれた傘昊先生、新津葵一先生、石川信宣さんには大きく研究室活動に貢献いただきました。自分の能力をはるかに超える仕事ができたと満足し、この環境を与えてくれた群馬大学に感謝いたします。